

## 概算要求における基本的考え方

- 超高齢化社会に対応した最新の医療環境の整備や、東日本大震災からの復興・再生などの課題に的確に対応するため、各種の戦略や予算に関する方針に基づき、予算を要求。

### 各種戦略

- 科学技術イノベーション総合戦略～新次元日本創造への挑戦～（平成25年6月7日 閣議決定）
- 日本再興戦略-JAPAN IS BACK-（平成25年6月14日 閣議決定）
- 健康・医療戦略（平成25年6月14日 関係閣僚申合せ）

### 予算に関する方針

- 平成26年度 科学技術に関する予算等の資源配分の方針（平成25年7月31日 総合科学技術会議）
- 医療分野の研究開発関連予算の要求の基本方針（平成25年8月8日 健康・医療戦略推進本部）

- とくに医療分野の研究開発については、戦略的・重点的な予算配分を行うため、「日本版NIH」の創設も見据えつつ、健康・医療戦略推進本部による一元的な調整の下、予算を要求。

#### 【医療分野において重点化すべき分野】（医療分野の研究開発関連予算の要求の基本方針）

- 疾病領域ごとの取組
  - ・ がん領域、精神・神経疾患領域、感染症領域、難病・希少疾患領域等
- 医薬品・医療機器開発への取組
- 臨床研究・治験への取組
- 世界最先端の医療の実現に向けた取組
  - ・ 再生医療、ゲノム医療
- 分野横断的研究の推進

# 概算要求の概要

(単位:百万円)

区 分	25年度 予算額	26年度 概算要求額	対前年度 増減額	対前年度 比率
科学技術振興費	124,645	136,728	12,083	109.7%
厚生労働科学研究費補助金	45,103	52,111	7,008	115.5%
【一般会計計上分】	44,036	51,064	7,028	116.0%
[I. 行政政策研究分野]	868	1,035	167	119.2%
(1) 行政政策研究経費	585	633	48	108.2%
(2) 厚生労働科学特別研究経費	283	401	118	141.7%
[II. 厚生科学基盤研究分野]	10,841	12,213	1,372	112.7%
(1) 先端の基盤開発研究経費	5,802	6,720	918	115.8%
(2) 臨床応用基盤研究経費	5,039	5,493	454	109.0%
[III. 疾病・障害対策研究分野]	29,245	34,137	4,892	116.7%
(1) 成育疾患克服等次世代育成基盤研究経費	541	595	54	110.0%
(2) がん研究10か年戦略研究経費(仮称)	6,172	9,322	3,150	151.0%
(3) 生活習慣病・難治性疾患克服総合研究経費	12,157	12,903	746	106.1%
(4) 長寿・障害総合研究経費	2,404	2,739	335	113.9%
(5) 感染症対策総合研究経費	7,970	8,578	608	107.6%
[IV. 健康安全確保総合研究分野]	3,083	3,679	596	119.3%
(1) 地域医療基盤開発推進研究経費	559	491	△68	87.8%
(2) 労働安全衛生総合研究経費	110	88	△22	80.0%
(3) 食品医薬品等リスク分析研究経費	2,165	2,647	482	122.3%
(4) 健康安全・危機管理対策総合研究経費	248	452	204	182.3%

区 分	25年度 予算額	26年度 概算要求額	対前年度 増減額	対前年度 比率
【東日本大震災復興特別会計計上分】				
東日本大震災からの復興への対応に関する研究	1,067	1,047	△20	98.1%
<参考>				
新しい日本のための優先課題推進枠(再掲)	0	9,865	9,865	—
試験研究機関 等	20,154	25,265	5,111	125.4%
特定疾患治療研究費補助金	44,000	44,000	0	100.0%
小児慢性特定疾患治療研究費補助金	12,950	12,950	0	100.0%
その他	2,437	2,403	△34	98.6%
その他科学技術関係経費	39,059	46,660	7,601	119.5%
国立高度専門医療研究センター等	36,618	44,174	7,556	120.6%
労働安全衛生総合研究所 等	2,442	2,485	43	101.8%
合 計	163,704	183,388	19,684	112.0%